

ふんぽりし

白山市国際交流協会 Hakusan International Association

No.36

2023年10月発行

青少年ホームステイ交流派遣 再開!



英国ボストン町中学生派遣事業

▶ ボストン町長表敬訪問。歴史のあるボストン町庁舎で訪問団を歓迎してくださいました。



▲ヘブンハイアカデミーでの授業体験。

豪州ペンリス市高校生派遣事業



▲ホスト生徒と。滞在中は、ホスト校のペンリスハイスクールでペンリス市生徒と一緒に授業を受けました。



▲青空の下、ホスト生徒と一緒にランチ!

C・O・N・T・E・N・T・S

■ 特集 ホームステイ交流 再開	1 ~ 2
■ HIA トピックス 国際交流員の退任、着任	3
■ 国際交流サロンのページ	4 ~ 5
■ HIA だより	6
■ ホームステイ交流OBコーナー	7
■ HIA からのお知らせ	8

今夏、4年ぶりに青少年ホームステイ交流の派遣が再開されました。姉妹都市・英国ボストン町へは6名の中学生が、そして親善友好都市・豪州ペンリス市へは12名の高校生が現地を訪問し、ホストファミリーや現地の人々と友好を深めました。

特集

青少年ホームステイ交流派遣 再開！

英国ボストン町中学生 ホームステイ交流派遣

派遣期間：7月17日(月・祝)～
7月28日(金) (11泊12日)

ボストン・スタンプ
(高さ83メートル)▶



▲小学校訪問のようす。ホスト生徒と一緒に現地の小学生と交流しました。



▲学校訪問では、教科ごとにクラスを移動するなど、日本とイギリスの学校生活の違いも体験しました。



▲町のシンボルである“ボストン・スタンプ(聖ボトルフ教会)”からはボストンの町を一望できます。



▲ボストン町の隣町、リンカン町にある大聖堂前にて。



▲最終日は“さよならパーティー”でボストン町の皆さんへ“よさこい”を披露！とても盛り上がりました。



▲お別れの日。また来年、白山市で会いましょう！

豪州ペンリス市高校生ホームステイ交流派遣

派遣期間：7月25日(火)～8月5日(土) (11泊12日)



▲日本語を学ぶペンリス市生徒と交流。



▲日本の「騎馬戦」を実演！日本文化や白山市について英語で紹介しました。



▲長年、本プログラムにご貢献いただいたペンリスハイスクールの日本語教諭 尚美・サリヴァン先生(写真左)に「白山市国際友好表彰」を授与しました。



▲▶音楽や体育などの授業にも参加しました。



◀帰る頃には、ホスト生徒だけでなく、多くのペンリス市生徒と友だちに！全員が「日本に帰りたくない」と言うぐらい、充実した交流となりました。

国際交流員のエヴァン・ローステッターさん（アメリカ出身）が、約1年8か月の任期を終え、7月31日に退任されました。エヴァンさんは、姉妹都市交流の通訳・翻訳で活躍したほか、公民館・児童館・こども園などを訪問し、地域の皆さんと交流を深めました。また、白山市国際交流協会においても、さまざまなイベントを通して協会の皆さんと触れ合い、とても優しい人柄で多くの人に親しまれていました。



7月1日（日）に開催した「エヴァンさんを送る会」のようす▶

～エヴァンさんから皆さんへのメッセージ～

①白山市で仕事をして、どうでしたか？

正直に白山市赴任の知らせまで石川県のことすら知らなかったです。白山市に来る直前、日系会社で働いて、同僚の日本人の駐在員と日本語に関わるスタッフから「白山市では農家さんが野菜をいっぱいくれる」、「日本酒が美味しい」や「ふぐの子食べてみ」のような面白いコメントをよくもらいました。現場で白山市に住めることは嫉妬された程でした。一言でまとめると、前職の人は正しかったです。知れば知るほど白山市のことがさらに好きになりました。

②白山市の好きな〇〇は？

人と話したらほぼ必ず出てくる地域の文化が生きている証である方言、市のガイドさんや伝統的な文化財を守る会社、保存会、連盟などの心に留まる熱意です。白山の「文弥節」人形だったり、昔の山の生活だったり、自分の住んでいる地域を愛する方々に、食べ物、生活や文化の案内を頂いたところです。

③皆さんへのメッセージ

白山市のために努力する市の職人、ガイド、保存会員、そして私の癒される英語サークルの皆さん、短い間ではありましたが、お陰様で10年間分位成長ができたと感じます。これからのご活躍を祈っています。

▼子どもたちに大人気のエヴァンさん！
（左：ピノキオクラブ 右：みかわこども園）



◀◀（左上）「国際交流のつどい」では袴姿で餅つきに挑戦！
（右上）冬に初級・中級の英会話講座を実施。大変好評でした。
（左下）ポストン町長表敬で通訳を務めるエヴァンさん。（中学生訪問団に引率者として随行）

新CIR（国際交流員）のニコル・ナビティーさんが着任しました！



8月7日に白山市の新しいCIR（国際交流員）として、ニコル・ナビティーさん（アメリカ出身）が着任しました。ニコルさんには、姉妹都市交流や在住外国人サポートなどの市の国際交流・多文化共生施策の補助のほか、地域の国際交流活動や市民への語学指導など、様々な業務に取り組んでいただきます。

◀着任式で田村市長に抱負を話すニコルさん

ニコルさんから皆さんへメッセージ

初めまして。Nicole Nabyと申します。今回、白山市の国際交流員として着任できてとても嬉しいです。

私は、アメリカのアイオワ州出身です。高校生の時、白山市と金沢市で1年間ロータリーの留学生として過ごしました。白山市に戻ることを嬉しく思います。白山市にいる間にもう一度白山に登って、白山の自然と農業について詳しく学びたいです。英語やアメリカ文化について話したいことがあれば、いつでも話しかけてください！よろしくお願いします。



白山市国際交流サロン利用ガイド

開館時間 9:15～18:00
 休館日 月曜日（月曜日が祝日でも休館）
 場所 〒924-0872 白山市古城町2（松任文化会館ピーノ2階）
 TEL/FAX 076-274-3371
 E-mail misalon@asagaotv.ne.jp
 HP https://hia-salon.jp/

国際交流サロンのSNSでつながりましょう。
 LINE公式アカウントではイベント情報をお知らせしています。



交流型クラス「わいわいカフェ」 いろんなテーマでわいわい交流しています！

「煎茶体験」

4月28日(金)

日本文化の一つ、「煎茶」のお点前を披露していただきました。初めて煎茶をいただく方が多く、抹茶とはまた違ったお茶の魅力を楽しみました。



「水引き細工」

6月30日(金)

講師の方から、あわじ結び、桃結びを教えてもらいました。紐を重ねたり、通したりと、皆さん何度も挑戦し、美しい水引細工が完成しました。

「大学生と交流」

7月16日(日)

この日は金城短期大学の学生が進行を務めました。8か国29名の方が参加し、好きな食べ物や日本にきて驚いたことなどについて話しました。その後は、学生さんが手作りした石川県の特産品などを紹介したトランプゲームなどを楽しみ、とても盛り上がりました。

「浴衣着付け&お盆」

7月28日(金)

日本の「お盆」についての学ぶとともに、浴衣の着付けに挑戦！帯の結び方も習い、自分達で浴衣を着ました。盆踊り「炭坑節」をみんなで踊り、夏の日本文化を体験しました。



「消防署見学」

6月18日(日)

白山市でも自然災害などが増える中、外国人住民が災害時や救急時に対応できるよう、白山野々市広域消防本部の見学を行いました。

前半は、消防署職員から初期消火の方法について学び、通信指令室で119番通報について説明を受けました。

後半は、女性防災士の皆さんから防災食の紹介や災害時のトイレ、在宅避難のために用意しておくべきものなどについて話していただきました。外国で暮らす時に、その国の言葉を学ぶだけでなく、緊急時、災害時にどう対応するかを学ぶことも大切です。



「親子プチ国際交流～ベトナム編～」

6月11日(日)



2ヶ月に1回、第2金曜日に行っている子育て交流会「くれよんカフェ」ですが、平日に参加できない方にも参加してもらえるように、6月は日曜日に開催しました。

ベトナム人ママから、帰国した際に撮影した写真を見ながら、ベトナムの“今”について紹介してもらいました。また、ベトナムの手作りおやつ「バナナアイス」を親子で一緒に作り、ベトナムの食文化も楽しみました。

参加者の方からは、「ベトナムの様子を写真で見せてもらえて、自分が旅行した気分になった。観光地だけでなく、現地の人が行くような店や市場の様子も知れて良かった」や「バナナアイスがおいしくて、子どもと一緒に何度も作って食べています」とのお声をいただきました。



にほんごカフェいしかわ

市内でも外国人住民の多い石川地区において、2か月に1回、石川公民館で交流型日本語教室を行っています！

「わたしのおすすめの〇〇」

5月28日(日)

金城短期大学の学生さんが若者たちに人気のアイドル、カフェ、イベントなどを紹介してくれました。

さすが若者たち！年の近い技能実習生たちと会話が弾み、交流会を盛り上げてくれました。「普段交流のない日本の大学生とたくさんお話ができた」と、参加した外国人の方から嬉しい感想がありました。



「トーンチャイムコンサート」

7月30日(日)

石川公民館で開催されたイベント「トーンチャイムコンサート」に外国人住民も一緒に参加し、きれいな音に癒され、音楽を楽しみました。

トーンチャイムは簡単に楽しめる新しい楽器です。一人一人に楽器が渡され、体験することもできました。皆さんの音が合わされるときれいな音色の曲になりました。



石川地区にお住まいの方は、お気軽にご参加ください♪

イタリア紹介&ピアノ演奏

6月23日(金)・ジンバブエ講座

7月9日(日)

イタリア出身のダリオ・リッツォさんに、母国の紹介と得意のピアノ演奏をしていただきました。講座では、イタリアと日本のマナーの違いなどを紹介してもらった後、特技のピアノを6曲演奏していただきました。曲によって異なるピアノの音色を、皆さんうっとりしながら聞いていました。



演奏の前にはダリオさんから曲について簡単な説明があり、作者の意図や気持ちを想像しながら演奏が聞けたのも良かったです。言葉や文化の違いを超えて、みんなで感動できる音楽は、大事なコミュニケーションツールの一つであることを改めて実感しました。

白山市在住でアフリカ・ジンバブエ出身のチパザ・アーノルドさんにジンバブエの歴史や文化などを紹介してもらいました。

日本の春といえば「桜」ですが、ジンバブエの秋には「ジャカランダ」という紫色の花の木が至る所にあることや、「グレート・ジンバブエ」という石の遺跡が国の名前の由来である、などいろいろなお話をしてくださいました。

ジンバブエでは、2008年にハイパーインフレで物の値段が毎日倍ずつ上がっていき、バスに乗るのにお札を60枚ほど出さなくてはいけない時期もあったそうです。アーノルドさんの流ちょうな日本語で語られるお話に、皆さん興味津々でした。



外国にルーツを持つ児童の夏休み宿題応援

8月1日(火)、2日(水)

2日間で10名の児童が参加し、8名のサポーターさんが支援してくださいました。子どもたちは夏休みの宿題や苦手な教科を持参し、サポーターさんに教えてもらいながら勉強に取り組みました。

普段は日本語の指導をうけている子どもたちですが、この日はいつもと違う教科を覚えてもらえることもあり、約2時間、真剣に課題に励みました。今回は金城短期大学の学生さんもサポーターとして参加し、年の近いお姉さんから勉強を覚えてもらえる、いい機会になりました。

当日は日本人児童の参加もあり、子どもたちのつながりの場になりました。



気軽に作れる世界の料理教室～中華編～

8月27日(日)

一般的なスーパーなどで手に入る食材や調味料を使って手軽に作れる“中華料理”を覚えてもらいました。

中華料理といっても、地域によって味も調理方法も多彩です。国際交流サロン職員で中国出身の山村テイさんが講師となり、普段の食卓でも美味しく、おもてなしにもピッタリな上海の家庭料理「冬瓜とスペアリブのスープ」、「よだれ鶏」、「高菜と枝豆の和え物」の3品とデザート「スイカジュース」を作りました。特に「冬瓜とスペアリブのスープ」が人気で、参加者の皆さんからは「スペアリブはBBQぐらいでしか使わなかったけど、今日教わったようにスープで使ってみよう。」などの感想が聞かれました。



友だちの輪 (外国人市民を紹介するコーナーです)

ガートペン・ミーナーさん (タイ出身)



私は、子どもの頃からいつも日本についての話を聞いてきました。日本の色々なことは面白いです。日本に来る機会ができ、とても嬉しかったです。12月に日本に着いた時、とても寒かったです。気持ちが良かったです。

私は現在白山市のサロンで日本語を勉強しながら技能実習生をしています。ここでやりたいことがたくさんあります。日本語や日本の文化、生活について学びたいです。サロンでは色々な国から来た新しい友だちに会いました。私たちは色々なことを一緒にしました。楽しくて、幸せです。サロンに入ったのはいい経験だと思います。この後、もっと新しい友だちに会えることを願っています。

外国文化・日本文化サポーター大活躍!

6月9日(金)

ファミリーサポートの交流会でベトナムの「生春巻き」と「バナナアイス」作りと文化紹介を行いました。生春巻きにつけるピーナッツソースは皆さんに大好評でした。



7月8日(土)

福岡で行われた「世界水泳選手権」の事前合宿で来市したフランス代表チームへ、浴衣の着付けを行いました。おそろいの浴衣姿がかっこよかったです。

7月26日(水)

明光小学校学童 ピノキオクラブでネパール講座を行いました。ネパールの民族衣装を見た子供たちは大興奮でした!

H.I.A. だより

米国コロンビア市学生訪問団来市

6月2日(金)～5日(月)

姉妹都市・米国コロンビア市の高校生及び大学生7名が日本研修のために来日し、白山市でホームステイを体験しました。生徒たちはコロンビア市の高校で日本語クラスを受講しており、ホストファミリーや蕪城小学校の児童たちと日本語でコミュニケーションをとるなど、白山市の人々との交流を楽しみました。



◀▲国際交流サロンで茶道体験。サポーターの皆さんからお茶のたて方を教えてもらいました。



▲ホストファミリーと対面！



蕪城小学校6年生と交流。児童たちがお手玉やけん玉などの日本の遊び体験を企画してくれました。▲▶

多文化共生啓発講演会「アフリカ少年が日本で育った結果」 6月10日(土)

松任学習センターコンサートホールにて、タレント・漫画家の星野ルネさんをお招きし、講演会を開催しました。

星野さんは4歳の時にカメルーンから来日し、兵庫県姫路市で育ちました。講演会では、「アフリカ人だから足が速い、日本人だから機械に強い、などの先入観を押し付けないようにすることが大事」など、多様な文化の人々が共に生活するために必要なことをお話していただきました。また、「外国人ミニスピーチ」も同時開催し、3名の外国人住民の皆さんが白山市の印象や母国についてなど日本語で発表しました。3人ともバラエティに富んだスピーチに、会場は笑いや大きな拍手に包まれました。



▲ユーモアのある語り口で話すルネさん。



◀外国人ミニスピーチに出演した発表者たち

▶ルネさんが描いた漫画の一コマを見せながら、自身の経験や想いを紹介。



第36回ジャパントント白山市プログラム

8月17日(木)～19日(土)

「ジャパントント」は今年4年ぶりにホームステイ交流が復活しました。白山市には12の国と地域から14名の留学生が訪れ、ホストファミリーと交流を深めました。

滞在プログラムでは、浅野太鼓さんでの太鼓ワークショップやヒノキ細工体験を通して、本市の伝統文化に触れました。また、恒例の留学生とホストファミリーが一堂に会する交流パーティーも開催され、参加者の皆さんは歌やダンス発表のほか、多彩な民族衣装披露などのステージを楽しみました。



◀対面式の様子。

太鼓ワークショップ。みんなで息を合わせて打ちました▶



▲民族衣装を披露する留学生。浴衣のホストファミリーも会場を彩ってくれました。

ホームステイ交流OBコーナー

市では親善友好都市3都市と中学生・高校生を対象にホームステイ交流を行っています。本コーナーでは、かつてホームステイ交流事業に参加したOB・OGの皆さんからのお便りを通して、青少年期に体験した同事業との関わりについてご紹介しています。

じょう あやの 城 綾乃さん

金沢市在住(旧姓・中川)。中学3年生時に1996年(平成8年)英国ボストン町派遣事業に参加。大学卒業後、フランスのラグジュアリーブランド(日本支社)に就職。以前から観光や日本の文化紹介にも興味があり、現在は国内外からの旅行者への観光案内関連の仕事に就いている。

「一歩踏み出す勇気をくれた体験」

私は中学3年生の時にイギリスのボストンへの国際交流に参加しました。このプロジェクトを知ってから、どうしても参加したいと思い、反対する父親を必死で説得したことを覚えています。

実際にボストンでホームステイを体験して、今まで通じるだろうと思っていた単語が通じなかったり、聞き間違いをしたりと歯がゆい思いなどもたくさんしました。細かい失敗はたくさんしましたが、ホストファミリーは優しく教えてくれたり、私が伝えようとしていることを辛抱強く聞こうとしてくれていました。多少失敗したり間違えても、その場で正してもらえたり相手の反応を見て言い方を変えたりと工夫する大切さを知りました。失敗をすることの不安よりも、伝えたいことを諦める方が悔しい思いをすることや、海外で1人でコミュニケーションを取れた自信も生まれ、新しいことにチャレンジすることにとっても前向きになれました。

そして翌年にホストシスターを自宅で受け入れる際にも日本のことを伝えたいと思い、日本文化にも興味が出ました。ホストシスターに浴衣を着てもらい、みんなで簡単なお祭りに出かけた時、とても喜ばれたことを覚えています。この頃から英語を使い、国際的な交流ができる仕事に就きたい、と思うようになりました。

大学を卒業後、県内に店舗のあるフランスのラグジュアリーブランドに販売職として就職しました。石川県にも年々海外からのお客様が増え、国内に住む英語を話す顧客もできました。1人の女性顧客の方は英語を話す方でしたが、製品のことで少し複雑な質問をされました。ゆっくり説明するとともに、出身地やお仕事、好きなものなどのお話を聞いていくうちに英語で話せる安心感もあるせいか、次回から私を指名してお買い物をしてくれるようになりました。

今思うと、全く知らない場所で初めて会う人と話す不安よりも、新しい人との出会いや分かり合える嬉しさを知ったきっかけが中学生時代に経験したボストンでのホームステイだったな、と改めて感じています。

このプロジェクトを通して、「私でも英語を使うことでたくさんの人とのコミュニケーションができるんだ。」「上手くできなくても一所懸命伝えることで相手と分かり合える。」という希望を持って新しいことにもチャレンジする勇気をもらいました。

現在は販売職から離れ、日本文化や地域の案内をする仕事に就きました。国内外からのお客様に楽しんでもらえるように、また日々チャレンジし続けたいと思っています。

白山市で海外との国際交流が再開されたと聞き、また子どもたちにチャレンジする機会が増えたことをとても嬉しく思います。



▲ホストシスターとお祭りへ。(一番左が城さん)

◎派遣生OBの皆さんからの投稿をお待ちしています。市役所国際交流室 toshikouryu@city.hakusan.lg.jpまで。

H.I.A.からのお知らせ

バドミントン交流会

外国人も日本人も、いっしょにバドミントンをして楽しく交流しましょう！

日時：11月12日(日)
13:00~15:00

会場：松任公民館

定員：32名
(先着順・申込要)

参加費：無料

申込期間：11月9日(木)まで



親子料理教室

白山市外国語指導助手のキャサリン先生と一緒に、アメリカのお菓子を作ります。

日時：11月26日(日)
13:30~15:00

講師：キャサリン・パッツ
(アメリカ出身)

会場：福祉ふれあいセンター
調理室

定員：親子8組(先着順、申込要)

参加費：500円

申込期間：11月12日(日)~11月23日(木)



Let's enjoy! 「えいごでクリスマス」

ALT・EIの先生たちと、簡単な英語を使ってクリスマスのゲームやスポーツ・クラフトで遊びましょう！

日時：12月10日(日)
13:00~17:00

講師：市ALT・EI、市国際交流員

会場：松任公民館

定員：市内小学生45名(先着順、申込要)

参加費：500円

申込期間：11月13日(月)~11月30日(木)



イベント情報&お知らせ配信中!

サロンの公式LINE、またE-mail会員にご登録いただくと、楽しいイベント(世界の料理教室、国際理解講座など)のご案内や協会からのお知らせが届きます。

ぜひご登録ください!



〈LINE公式アカウント登録方法〉

- ①右の二次元バーコードを読み取り、「追加」ボタンを押してください。
- ②「友だち追加」の「ID検索」より、**@805wfindy**と入力してください。



〈メール会員登録方法〉

サロンメールアドレス misalon@asagaotv.ne.jp へ、ご住所、お名前の明記と「E-mail登録希望」と書いて、送信ください。



国際交流員をご活用ください。

市民や市内の各種団体が取り組んでいる事業にアメリカ出身のニコル国際交流員を派遣します。「異文化を理解するきっかけに」「外国人の視点が聞きたい」等、国際交流・異文化理解推進にご活用ください。



◀ 笠間公民館での市民講座の様子。
「日常生活の違いが聞けて、おもしろかった。日本で当たり前だと思っても、外国では文化が違うこともあると改めて感じた。」などといった意見が聞かれました。

派遣申込みの詳細については、市の国際交流室ホームページよりご覧になれます。活用方法についても、お気軽に、ご相談ください。

(これまでの派遣先：保育所、子ども食堂、児童館、老人サロン等)

【問い合わせ】国際交流室(274-9520)

募集の申込み・問い合わせ

国際交流サロン Tel 076-274-3371

E-mail misalon@asagaotv.ne.jp まで

編集後記

今年は、約4年ぶりにホームステイ交流派遣事業やジャパネットが再開し、さまざまな交流で充実した夏でした。そして特別に暑かったですね。このふれんどりいが発行される頃には涼しくなっているでしょうか。雪が降る前のつかの間の秋に、たくさんお出かけしたいですね。バドミントン交流会など、国際交流イベントにもぜひ足を運んでみてください。(K)

発行 ■ 白山市国際交流協会 (Hakusan International Association)

事務局 / 白山市役所観光文化スポーツ部国際交流室

TEL 076-274-9520 FAX 076-274-9546

E-mail: toshikouryu@city.hakusan.lg.jp

白山市国際交流サロン

TEL・FAX 076-274-3371 E-mail: misalon@asagaotv.ne.jp